



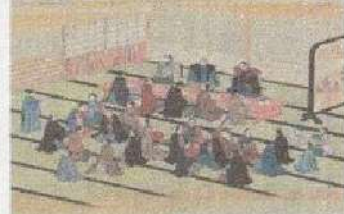
「おやゆびひめ」高橋真琴 5/30 掲載



「小学校入門教授図解 第七」6/13 掲載



「聖母像」2/28 掲載



「聖堂講釈図・寺子屋図(部分)」4/4 掲載



「東京上空(数寄屋橋付近)」4/11 掲載

お知らせ 7月10日(土)金毘羅縁日ふれあい市会場おはやし館前にて11時~11時半佐倉城下町ジャズサーキット主催ミニライブやります!出演佐藤洋祐、三橋洋介、米本明ほか(感染防止に十分配慮しながらのミニライブです。ご観覧の際は密にならないようお気をつけください。お願いいたします。

ドレムロハへの階段 第26回

「ヘッサイ版」心のJ-POP洋楽番外編「ア・チェンジ・イズ・ゴナ・カム(サム・クック)」 佐藤 洋祐

「きつとこの悲しい状況は変わる。私はそれを知っている。」
こんなフレーズが繰り返されます。1960年代中頃、アメリカでの人種差別に抗議する公民権運動の旗印になった名曲、黒人歌手サム・クックさんの曲です。あれ、J-POPじゃないよ?はい、そうなんです。

先日、テニスプレーヤーの大坂なおみさんが、有名なテニスの世界大会における試合後のインタビュを拒んで、結果的に大会への出場を辞退されたニュースを見ました。発言当初の彼女に対して同業のテニスプレーヤーたちの多く、またほとんどのメディアが彼女のこの言動に否定的な見解を少なからず示していました。「会見に出席しないこと(男子世界1位のジョコビッチさん)」「彼女の決断は尊重するも、メディアもスポーツの一部(日本の男子プレーヤー錦織圭さん)」のちに、大坂さんがメンタルの不調を告白され、それを受けて世論は一変し彼女への同情をこぞって表す景色となり、試合後の会見についての議論そのものは聞かれな



挿絵 TAKAKO

大坂さんの問題提起は試合後の会見への出席の是非でしたが、それは大きく見れば、スポンサーとなつている大企業の意向には、例えそれが人の心を痛めるものであつても逆らつてはならないという暗黙の事実疑問を投げかけたものです。知らず知らずのうち私たちが取り込まれている大きな力に対して、自分がどう行動するべきか考えるきっかけを与えてくれたもの、として、自分事として彼女の問題提起を受けとめさせていたかどうかと思ひました。

もともと音楽もスポーツも、人間の原始的な喜びの成果でした。それがいつの間にか、お金を生むための手段に変わった時、その原始的な喜びを忘れずいられるかどうか。お金のため音楽を演奏してしまっていないか、ということ。もちろんお金はとても大事、稼ぐことは良い事と思ひますし、とんどもここに打ち込んだらいいと思うと同時に、それでもやはり一番の大事は、音楽が自分の、そして人々の喜びの種である、ということ。お金が本来の人間の喜びや幸せより大事になつてしまつてはならないということ。

私は好きな事を生業にすることができた、本当に稀に運のいい人間です。ですから、その奇跡を可能にしてくださいと願っている私の周囲の全ての皆様への感謝をいつも絶やさず、やはり私は音楽で皆様に何か少しでもお返しをさせていただき、この世に生を受けた一つの命として、次の世代に渡せるものを全て捧げたい、という気持ちです。大坂さん、きつといつか、変わるよ!応援してます!

私の唄う「ア・チェンジ・イズ・ゴナ・カム」を動画サイト「YouTube」にて視聴いただけました。このQRコードを読み取るか、YouTubeにて「佐藤洋祐 ドラゴンへの贈り物 ア・チェンジ・イズ・ゴナ・カム」と検索して見つけていただけます。私が動画を載せている「フォーカステイパブリック」は、千葉県有志連による地域おこしを目的とした動画チャンネルです。

このニュースを見たとき、私にはそれがテニスプレーヤーという、私の仕事である音楽家とは縁遠い職業での議論ではあつても、それが他人事とは思えませんでした。なぜならプロ音楽家もプロスポーツ選手も、この世に富の蓄積が生まれ、生きることに余裕ができることではじめてその存在を許された職業です。また貧富の差が出現しそれが拡大することによってその経済力を蓄えた、富める方の庇護や支援を受け、また時にその方々の広告材料となることにより収入を得、己の専門性に磨きをかけることが可能となった職業でもあります。私たちの仕事の成果がご覧くださる方々に夢や希望の力を与えることができると思ひながら、その活動が富める方々をより豊かにし、結果的に貧しい方々をより貧しくさせてしまうという、己の善悪を揺るがす矛盾も孕んでいます。

佐藤 洋祐 (サトウ ヨウスケ)
ジャズミュージシャン。サックス奏者としてグラミー賞を2度受賞。
2015年末より佐倉市在住。
2019年よりシンガーとしても活動を開始。



ア・チェンジ・イズ・ゴナ・カム